

BUNTO

ぶんと通信

VOL.143
2022.8.1



朱ト赤ト紅カラ生マレタ女ノ子

元永紅子



TOPICS

朱ト赤ト紅カラ生マレタ女ノ子

元永 紅子 さん

2020年からアトリエを伊賀へ移し、絵画作品とジュエリーを創作する元永紅子さん。

伊賀市内では、Zipponia Hotelで紅子さんの絵画作品に出会うことができる。作品の前でゆっくりと過ごしていると、1色の中に細い筋で表わされた陰影、生み出される揺らぎに、ポジティブなまま何故か静けさに向かっていた。

紅子さんが身につけている銀のジュエリーも自身の作品で、外してテーブルに置いた時、これは小さな彫刻だ、わー素敵つと見え方が変わり、ドキッとした。その変化に驚いていると、再びすっと身に付けられたそれは、たちまちジュエリーとして肌に馴染んでいった。その存在感には、気付いた瞬間に虜になってしまう。

紅子さんの父は、伊賀市出身の元永定正さん。

戦後を代表する前衛美術作家であり、所蔵作品を持つ美術館は日本のみならず世界各地に。絵本作家としても名作が続き、谷川俊太郎さんとの絵本「もこもこ」等に出会った方も多いはず。生誕100年の今年は兵庫県立美術館をはじめ各地で展覧会が開催され、その見応えある展示に、伊賀市出身ということも誇らしく、見る人に今も大きな力を与え続けている。

母は、美術家の中辻悦子さん。グラフィック・デザイナーでもあり絵本制作も手がけ、世界的な賞も生み出している。3人の子育てをしながら、暮らしの中で隙間時間や場所を見つけ、ご自身の作品も精力的に作り続けられてきた。結果的にその作品が暮らしの空間に飾られ、子どもをあやすことにも繋がっていたという。

父・永定正さんも子育ての中で、よく料理を作っ

てくれたそう。馴染みの料理アイテムが、取材中もどんな会話から飛び出して、それはそれは美しく愛しく、どこかユーモラスなシチュエーションとなって紅子さんの記憶を彩っていた。

二人の兄と共に、生まれた時から色や創作が生活のありとあらゆる所にあり、ただ自然に触れ続けていた紅子さん。

大学への進路で金工の道へ進もうとしたとき「美術の道で想像力を豊かにしてから、技術を磨いたほうがいい」と、父として進む道を示してくれたという。今となっては、絵画作品とジュエリーどちらも制作をしている事につながっていて「よかったなってね。でもね、上手く描きなさいと言われた事は一度もないのよ」と敬意のような言葉を、さらりと添える紅子さんの姿に、娘を想う父の柔らかな眼差しを感じて仕方なかった。

紅子さんの展覧会を訪ねると、その色の楽しさにいろんな視点から作品が感性を刺激して、ドキツとする。なのに、どこから見てもすっと据えられて、最後には安定へとつながっていく不思議な感覚。しばらくすると、又じつくりと作品のある空間へと出掛けたくなるのです。

元永定正さん生誕100年の今年10月、元永定正展が史跡旧崇広堂、中辻悦子展が赤井家住宅、そして元永紅子展が入交家住宅と、三カ所にて展覧会が開催される。総合ディレクションは山本忠臣さん。

伊賀で3人の展覧会が同時開催されることは初であり、大規模な展示がこの秋に伊賀を旋風することが、今からとても待ち遠しい。

詳しくは6ページの詳細案内をご覧ください。

(文 広報事業委員 伊藤 尚美・写真 山口 貴史)

クラシック
コラム

オーケストラでのトランペット

学生時代は吹奏楽部に所属していました。トランペットは旋律のメロディーを担当する事も多く、クラシックのオーケストラの楽曲を吹奏楽版に編曲した物では、原曲がトランペットのフレーズはもちろんですが、弦楽器が担当する美しいメロディーをもトランペットのパート譜に載せている楽譜もありました。

今は伊賀オケに所属しています。過去に演奏した事がある曲でも、実際に楽譜を見てみると、昔吹いたはずの美しいメロディーは載ってません。古い時代の曲はほとんどが待ち時間で、演奏するのはほんのわずかだったり、音が3つくらいで事が済んだり、なんて事もあります。旋律もなく見た目は面白みのない楽譜に思えるのかもしれない。でもね、これがオーケストラと一緒に演奏するとなかなか楽しいんです。リズム通り、音符の音の長さ通り、指揮者のテンポ通り吹けば、一番後ろで大きな音の楽器で演奏する意味や、自分の楽器の必要性を感じます。だからこそ楽譜に忠実に演奏する様に心掛けています。

指折り数えた長い長い休みの後、「待ちに待ったトランペットの出番だ！」と華やかでカッコいいフレーズで思いっきり失敗して凹む事も多々あります。大きな音だから破壊力も抜群。怖い楽器でもあります。しかし上手く決まった時の爽快感もトランペットの魅力なのかもしれません。



伊賀コミュニティオーケストラ
は せ がわ あき ひろ
長谷川 陽洋
(トランペット)

頑張り
ウクライナ

ウクライナを知って応援して

宮崎さんは依那古出身、2015年に1年半ほどウクライナに在住し首都キーウの「ウクライナ日本センター」で日本語を教えていた。現在は大阪などで日本語講師などを務めている。

ロシアがウクライナに侵攻してから、機会があれば実家のある伊賀に戻り、ウクライナのことを伊賀の多くの方々に知ってもらいたいとイベントなどで情報発信や支援活動を行っている。活動時はウクライナの民族衣装を着て、自身が撮影したウクライナの写真などを展示しながら、ウクライナをイメージした手づくりのアクセサリーやポストカードの販売も行う。売り上げなどはウクライナの支援に充てられる。

アクセサリーを手づくりすることは『ウクライナのために何が出来るのか?』を知人などに相談して始めた。ウクライナをイメージした手づくりのアクセサリーは寄付のお礼に手渡しするほか、販売を行った場合は売り上げが寄付になる。アクセサリーを身に着けた方々がウクライナを応援する気持ちになり、その姿を思い浮かべることがウクライナの方々と支援に携わる方々の励みになればと考えている。

これからは、ウクライナの伝統的な民族装飾である『ペトリクウカ塗り』など、ウクライナの文化を紹介する取り組みをしたいと考えている。宮崎さんは「報道などでは連日、ロシアとの戦争で辛い映像ばかりが流れている。在住中にカメラに収めてきた戦争のないウクライナの本来の姿、きれいな風景や素晴らしい文化に触れて、もっとウクライナを知って、好きになって、応援して欲しい。いつの日かウクライナに行ってみたいと思って欲しい」と語っていました。

(文 広報事業委員 下猶 茂樹・写真 山口 貴史)



地元伊賀でウクライナの
支援活動に携わる

みやざき
宮崎さとみ さん

こだわり
人生乾杯

伊賀の風にいざなわれ

2022年5月1日、伊賀市比土の風鈴屋敷「風処」のオープニングコンサート(夜の部)に参加した。築百年の古民家は新しい主みずから壁に漆喰を塗り床板を貼り替えるなどたくさんの手を加えられ観客の到着を待っていた。門をくぐり、蹲の水音に耳を傾けつつ靴を脱ぐと、ウィンドチャイムの入った小さな布袋を預けられる。縁側廊下下げられたたくさんさんの風鈴をおそろする鳴らしてみる人もあれば、その数と種類に圧倒される人も。広間には座布団が扇状に敷かれ、その要の部分の風鈴雅楽セットに演奏家が着座する。観客のささめきがおさまると庭の水音が戻ってきた。日向真さんは世界で唯一人のプロの風鈴演奏家。関東出身で子供の頃は漫画家になりたかったとか。学生時代にバンドを組み作曲を手掛けたあたりから今に連なる音楽への道が開けた。風鈴演奏家として立ったのは十九年ほど前、京都を拠点とし全国各地でコンサートを多数開催するも新型コロナウイルスの影響で依頼が激減、昔からの夢の古民家移住を決心。「伊賀」という地名に心惹かれ、夏には庭に蛍の舞う此処を新たな拠点に「即決した」という。

風鈴・太鼓・琴・尺八・土笛などを演者ひとりで奏でる風鈴雅楽、コンサートの途中観客がそれぞれの手のウィンドチャイムを揺らす。それが演者の音とひとつになって晩春の夜気を震わせていた。

(文 広報事業委員 今西 由佳・写真提供)



世界で一人の風鈴演奏家

ひなた
日向 真 さん

「拝む人、拝まれる人」 伊藤たかみ

暑さが厳しくなるにしたがって、家から一番近いスーパーばかり利用するようになる。小さくて古いけれど、アットホームなところがいいのか老人の客が多い店だ。

去年の夏、このスーパーで買い物をしていたら、おばあさんに前触れもなく拝まれた。新興宗教関係の人ではなくさそうだ。店にはときどき軽い認知症が入った方も来店するので、もしかするとそういうことだったのかもしれない。

ただそのとき僕が思い出したのは、今はなき伊賀上野のジャスコだった。同じことが一度あったのだ。

あの日、僕は高校を西門から抜けだし、暑い午後の授業をさぼることにした。電車の時間ぴったりに駅に入ろうと、ジャスコに入った。長い間駅にいて先生に出くわすとまずいからだ（なんだから犯罪者みたいだな）。

ところがジャスコに入るなり、知らないおばあさんに拝まれてしまったのである。

ええ、なんですか？ といいたかったが、緊張すると声が出ないものだ。僕もまだ若かったから、予想外のことに恐ろしくなり、先生がいるかもしれない駅に逃げたのだった。

しかしずいぶんあとになってから、似たような経験をした人の話を聞いた。厳密には一人じゃなく二人も。そう

るともうUFOみたいな話で、よく調べてみたら、拝むおばあさんや拝まれる男というのにも、それなりの理由があるのだろう、科学的に。

まあ、わからないままのほうが楽しそうではあるけれど。

不思議なおばあさんといえば、これはつい先日の話。やっぱり突然、声をかけられた。レジで順番を待っていたときに、ひとつ前に並んでいる彼女が急にふりかえってきたのである。

伊藤たかみの

拝まれる人



Vol.19

1971年生 上野高校出身、早大卒 小説家
「八月の路上に捨てた」(文藝春秋)で第135回芥川賞。
『さぶそん』(ポプラ社、坪田譲治文字賞)など児童書も手がける。

「あーた、急いでる？」

「いえ、急いでません」

実際に急いでなかったたので正直に答えた。

「いや、あーたは急いでる。それに私の買い物はあーたの2倍くらいある」

彼女の買い物は、僕の買い物より2倍あるから時間がかかるというたいのたろう。だから私より先にレジを通れといっている。

確かに申し出はありがたかったが、僕はせっかちなじゃない。信号だとかバスだとか、急げばセーフというタイミングになってもほぼ100パーセント次の回まで待つタイプだ。むしろ急がされるのが大嫌い。

けれどこのときは、素直にしたがうことにした。「あーたは急いでる」と断言され、これはなにかのメッセージかもしれないと思えてきたのだ。大切なことに限って、受け取る本人もいつて本人も、そうと気づかないままやりとりすることがある。

だがレジを抜けてふりかえると、おばあさんがレジ係に話しかけているのを見つけた。彼とおしゃべりしたいがため、列の最後列に並びたかったようだ。僕と同じくらいの、中年の男だった。

バカめ！と心の中でののしったけれど、これはどういう種類の嫉妬なのか自分でもよくわからない。夏のせい



BUNTO EVENT INFORMATION

新型コロナウイルスのさまざまな感染拡大防止対策を行います。安心してご来場ください。なお、今後の社会情勢を踏まえ、変更する場合があります。

ぶんとチャイルドクラシックプログラム —おなかのなかから小学生になるまで—

第二回 おなかのなかからクラシック

ママとおなかの赤ちゃんに贈る、初めてのコンサート
心地よい音楽で赤ちゃんと一緒にリラックス！

- 日 時 9月11日(日) 開場 10:30 開演 11:00
 ■会 場 伊賀市文化会館
 ■料 金 無料
 ■対 象 妊娠中のお母さまと、大人の同伴者2名様まで
 ※無料託児付き(1歳～6歳の未就学児 先着5名 要申込)
 ■出 演 奥本華菜子(フルート)、大淵雅子(ピアノ)
 ■申 込 8月6日(土)10:00から☎22-0511で受付



第二回 2歳になるまでのクラシック

「ハイハイ」「よちよち」期のおともだちといっしょに！
感性豊かなこの成長期にクラシックを聴きましょう。

- 日 時 9月19日(月・祝) 開場 13:00 開演 13:30
 ■会 場 伊賀市文化会館
 ■料 金 大人500円・子ども100円
 ■対 象 0歳から1歳とその保護者
 ■出 演 山本かずみ(ヴォーカル)、
新井宗平(パーカッション・ピアノ)、
辻歩(マリンバ)
 ■発売日 8月6日(土)



10歳までに聴かせたいクラシック —音で楽しむクラシック— vol.2

子どもたちが音楽に親しみながら感性を育み、心の成長につなげることを目的として、小学生を対象にした音楽プログラムです。

- 日 時 10月16日(日)
開場 13:15 開演 14:00
 ■会 場 伊賀市文化会館
 ■料 金 大人1,000円・子ども500円
 ■対 象 小学生とその保護者
 ■出 演 山本かずみ(司会・うた)、
西谷良彦(トランペット)、
松田貴之(トランペット)、
青木宏朗(ホルン)、
矢巻正輝(トロンボーン)、
山田悠貴(チューバ)
 ■発売日 9月3日(土)



TOUCH THE STEINWAY

憧れのスタインウェイが弾ける

- あやま文化センター 9月25日(日)
 開催時間 各日 10:00～17:00
☐演奏時間 30分
☐参加費 1枠500円 ※1枠2名まで
☐募集人数 各14枠 ※先着順とし、定員になり次第締切
☐申込方法 8月20日(土)11:00から電話受付
 ●あやま文化センター ☎43-1125 (月曜休館)
 ※音楽教室のレッスンや発表会としての利用はできません。
 ※受付初日は1回のお電話で2枠までの受付とします。
 ※楽器等の持込みはご遠慮ください。



『世界でひとつだけの絵本を作ろう!』

—絵本づくりとコンサート—

自分で考えたお話を絵本にしてみよう！完成した絵本に音楽を付けてもらい、コンサートを開催します。

- 日 時 1回目 10月15日(土) 13:00～16:30
 2回目 11月5日(土) 13:00～16:30
 3回目 11月20日(日) 13:00～16:30
 4回目 12月11日(日) 制作発表とコンサート
 ※時間は調整中

- 会 場 あやま文化センター 楽屋
 ■料 金 3,500円
 ■対 象 小学1年生～小学3年生
 ■定 員 10名(保護者同伴可)
 ■講 師 ながおたくま(絵本作家)
 ■音 楽 北川美晃(ピアニスト)

※詳細はホームページまたはチラシをご覧ください。



BUNTO ART EXHIBITION

新型コロナウイルスのさまざまな感染拡大防止対策を行います。安心して
ご来場ください。なお、今後の社会情勢を踏まえ、変更する場合があります。

8.19 (金)

8.28 (日)

10:00~18:30
(最終日 16:00)

AKAIKE ART GALLERY 2022

つのだゆき・角田恵子 親子展

夏の硝子

ガラス工芸作家、つのだゆきと母恵子さんとコラボレーション展。
夏休みの虫採りや川遊びなど夏の1ページを切り抜いた発見や驚き、懐かしさなどが感じられる作品と母恵子さんのクソツと笑える
おもしろ可愛いガラス作品が多数並ぶ作品展。

会 場 赤井家住宅

料 金 入場無料 ※作品を展示販売します。



9. 2 (金)

10.10 (月・祝)

10:00~16:30
(入館は 16:00)
火曜日休館

谷本景の軌跡

—The trajectory of Kei Tanimoto

銅版画から伊賀焼へ

古伊賀の伝統のなかに独自の現代性を表現する作家、谷本景の軌跡展。
70年初頭から現代に至る銅版画、墨のドローイング、シルクスクリーン、ペインティ
ング、陶器等 約50点あまり展示します。
谷本景の創作世界をどうぞ高覧ください。

会 場 伊賀市ミュージアム青山讃頌舎 観覧料 一般300円 (高校生以下無料)

■GALLERY TALK「谷本景の軌跡」 9月10日㊥・9月24日㊥ ①11:00~ ②14:00~
各回15名 (予約制)

■谷本景の茶盤で「茶」を嗜む 9月11日㊥・9月25日㊥・10月9日㊥

①10:00~ ②11:00~ ③13:00~ ④14:00~ 各回4名 (予約制) 呈茶代400円

【お申込み・受付】8月7日㊥午前10時から電話0595-52-1109で先着順に受付



9.16 (金)

9.25 (日)

10:00~17:00
(最終日 15:00)

AKAIKE ART GALLERY 2022

CONTEMPORARY JEWELRY
AND THAT WORLD

[コンテンポラリージュエリーとその世界]

ジュエリー、工芸、立体のジャンルで活躍している13名の見応えのある「今日のジュ
エリー」を、江戸時代の武家屋敷赤井家住宅の和の空間に展示し、どのような魅
惑的な相乗効果と広がりが出るのか、心が躍ります、どうぞ高覧ください。

会 場 赤井家住宅

展 示 金子 透・小林京和・佐藤寛朗・島添昭義・管 まりお・関根正文・中村ミナト

鳴海多恵子・西林佳寿子・服部純子・稗田麻琴・福浦利枝・山田瑞子

料 金 入場無料 ※作品を展示販売します。



10. 1 (土)

10.31 (月)

9:00~16:30
(火曜日休館)

生誕100年 元永定正展

一寸さきは光

～伊賀が生んだ美術の滑稽～

伊賀市出身で、具体美術協会を代表する作家のひとりとして世界的
に知られている美術家「元永定正」の生誕100年を記念した展覧会
を開催。そのカラフルな色彩と生命体を思わせる形態で、子どもから
大人まで高い人気を誇る元永作品の数々を、江戸時代の藩校「史跡
旧崇広堂」でゆっくりとご覧ください。

会 場 史跡旧崇広堂 料 金 入場料 一般500円 (高校生以下無料)

関連企画 中辻悦子展 「中辻悦子と元永悦子 私は悦子」

会 場 赤井家住宅 料 金 入場無料

元永紅子展 「一朱ト赤ト紅カラ生マレタ女ノ子」

会 場 入交家住宅 料 金 入場無料



元永定正 ベにべにむらさき

第39回上野城 薪能

能楽の創世親阿弥の生誕地とされる伊賀上野の名所 上野城での薪能

- 日 時 9月10日(土)
開場17:15 開演18:00
- 会 場 上野城本丸広場 特設舞台
- 料 金 1,000円 限定250席
(全席自由席)
※中学生以下、限定40席無料
要整理券
- 演 目 「杜若」
- 出 演 喜多流能楽師 長田 郷 ほか
- 発売日 8月5日(金)



すうこうどう密席 Vol.27

～歴史情緒あふれる講堂で至福の一幕を～
歴史情緒あふれる史跡旧崇広堂で気軽に楽しめる落語会

- 日 時 9月23日(土)
開場18:15 開演19:00
- 会 場 史跡旧崇広堂
- 料 金 1,000円(全席自由)定員90名
- 出 演 林家 菊丸、桂 おとめ
- 発売日 発売中

安心の事前リモート講習会付！
一泊二日の
女子ソロキャンプ体験会

- 開催日 10月1日(土)～2日(日)
- 料 金 5,000円 ※用具レンタル代別
※参加者のお子様(小学生)に限り500円で参加可能
- 定 員 20名 ※応募者多数の場合は抽選
- 対 象 18歳以上の女性



★詳細、お申込みは右の
QRコードからチェック！



BUNTO EVENT INFORMATION

新型コロナウイルスのさまざまな感染拡大防止対策を行います。安心してご来場ください。なお、今後の社会情勢を踏まえ、変更する場合があります。

美容空手

- 毎週月曜日 10回コース
9月26日(月)～12月5日(月)
※10月10日休講
19:30～20:30(受付19:00～)
- 所 伊賀市民体育館 管理棟
- 料 5,000円 対 一般
- 定 15名 ※先着順。定員になり次第締切。
- 講 松本 慎吾 先生
- 受 8月20日(土)15:00から
TEL 24-1184で申込受付

曜日を変更します！
火曜日 ⇒ 月曜日



すわったままで

- 毎週木曜日 10回コース
9月15日(木)～11月24日(木)
※11月3日休講
19:30～20:30(受付19:00～)
- 所 伊賀市民体育館 管理棟
- 料 5,000円 対 一般
- 定 15名 ※先着順。定員になり次第締切。
- 講 井野 由美子 先生
- 受 8月20日(土)10:00から
TEL 24-1184で申込受付



毎椅子に座って手足を動かす
姿勢を整えるための全身運動。

マットエクササイズ

- 毎週月曜日 10回コース
9月26日(月)～12月5日(月)
※10月10日休講
11:00～12:00(受付10:30～)
- 所 伊賀市民体育館 管理棟
- 料 5,000円 対 一般
- 定 15名 ※先着順。定員になり次第締切。
- 講 藤川 恵美 先生
- 受 8月22日(月)9:00から
TEL 24-1184で申込受付
※1回のお電話で2名まで受付

トランポリズム

- 毎週火曜日 10回コース
9月13日(火)～11月15日(火)
19:30～20:30(受付19:00～)
- 所 しらさぎ運動公園 管理棟
- 料 5,000円 対 一般
- 定 15名 ※先着順。定員になり次第締切。
- 講 陶山 美佐 先生
- 受 8月20日(土)13:00から
TEL 24-1184で申込受付
※1回のお電話で2名まで受付

Let's YOGA in 文化会館

- 毎週水曜日 10回コース
10月12日(水)～12月21日(水)
※11月23日休講
11:00～12:00(受付10:30～)
- 所 伊賀市文化会館 リハーサル室
- 料 5,000円 対 一般
- 定 18名 ※先着順。定員になり次第締切。
- 講 パドマ会 矢野 妙子 先生
(錦 真奈美 先生)
- 受 8月24日(木)13:00から
TEL 24-1184で申込受付
※1回のお電話で2名まで

ピラティス

- 毎週木曜日 10回コース
9月15日(木)～11月24日(木)
※11月3日休講
11:00～12:00(受付10:30～)
- 所 伊賀市民体育館 管理棟
- 料 5,000円 対 一般
- 定 15名 ※先着順。定員になり次第締切。
- 講 藤川 恵美 先生
- 受 8月18日(木)9:00から
TEL 24-1184で申込受付

ラテン系フィットネスZUMBA

- 毎週木曜日 10回コース
9月15日(木)～11月24日(木)
※11月3日休講
19:30～20:30(受付19:00～)
- 所 阿山B&G海洋センター
- 料 5,000円 対 一般
- 定 28名 ※先着順。定員になり次第締切。
- 講 大財 まさみ 先生
- 受 8月20日(土)11:00から
TEL 24-1184で申込受付
※1回のお電話で3名まで受付

Let's YOGA in 市民体育館

- 毎週金曜日 12回コース
10月28日(金)～2023年1月27日(金)
※12月30日・1月6日休講
11:00～12:00(受付10:30～)
- 所 伊賀市民体育館 管理棟
- 料 6,000円 対 一般
- 定 15名 ※先着順。定員になり次第締切。
- 講 パドマ会 錦 真奈美 先生
(矢野 妙子 先生)
- 受 8月19日(金)15:00から
TEL 24-1184で申込受付
※1回のお電話で2名まで受付

リンパストレッチ

- 毎週金曜日 10回コース
9月16日(金)～12月2日(金)
※9月23日・11月11日休講
13:00～14:00(受付12:30～)
- 所 しらさぎ運動公園 管理棟
- 料 5,000円 対 一般
- 定 15名 ※先着順。定員になり次第締切。
- 講 高橋 一代 先生
- 受 8月19日(金)9:00から
TEL 24-1184で申込受付
※1回のお電話で2名まで受付

夜しあわせヨガ

- 毎週金曜日 10回コース
9月16日(金)～11月25日(金)
※9月23日休講
19:30～20:30(受付19:00～)
- 所 伊賀市民体育館 管理棟
- 料 5,000円 対 一般
- 定 15名 ※先着順。定員になり次第締切。
- 講 山中 倫子 先生
- 受 8月20日(土)14:00から
TEL 24-1184で申込受付
※1回のお電話で2名まで受付

日 日時 所 場所 ￥ 料金 定 定員 講 講師 対 対象者 受 申込受付

編集後記

私たちの文化会館ホールの緞帳は2つあり、元永定正画伯とその師、濱邊萬吉画伯の師弟による作品である。中でも元永画伯のものは他に類を見ない独特の迫力がある当館自慢のものである。今年はその元永定正画伯の生誕 100 年の節目の年にあたり、また同級生であり親交も深かった小説家岸宏子氏もあたりまえだが生誕 100 年になる。数々の功績を讃え各地でイベントが展開され、伊賀市においてもいろいろ予定、計画されている。「絵描き」と「もの書き」とジャンルは違っても、それぞれの卓越した感性は私たちに文化芸術の真髄を伝えてくれている。このお二人を育んだのはまぎれもなく我がふるさと伊賀であり、私たちの中には同じDNA が受け継がれていると確信し、自負したいと考える。

(広報事業委員 池澤 基善)

BUNTO TICKET

新型コロナウイルスのさまざまな感染拡大防止対策を行います。安心して
ご来場ください。なお、今後の社会情勢を踏まえ、変更する場合があります。

9月19日(月・祝) 開場 13:00
開演 13:30

ぶんとチャイルドクラシックプログラム
第二回 2歳になるまでのクラシック

出演者 山本かずみ(ヴォーカル)
新井宗平(パーカッション・ピアノ)
辻 歩(マリンバ)

■会場 伊賀市文化会館

料 金 自由 8/6(土) 発売
大 人 500円・子ども 100円



9月23日(金・祝) 開場 13:30
開演 14:00

bimonthly Concert Vol.33
ソプラノとピアノによる愛のうた

出演者 奥藤ありさ(ソプラノ)
大島万穂(ピアノ)

■会場 伊賀市文化会館

料 金 自由 発売中
500円



10月9日(日) 開場 16:30
開演 17:00

ホールに響くバロックの音世界
～バッハの名曲と共に～

出演者 高田泰治(チェンバロ)

■会場 あやま文化センター

料 金 指定 9/4(日) 発売
1,000円



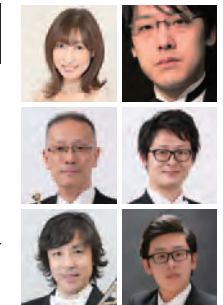
10月16日(日) 開場 13:15
開演 14:00

10歳までに聴かせたいクラシック
ー音で楽しむクラシックー vol.2

出演者 山本かずみ(司会・うた)、西谷良彦(トランペット)、
松田貴之(トランペット)、青木宏朗(ホルン)、
矢巻正輝(トロンボーン)、山田悠貴(チューバ)

■会場 伊賀市文化会館

料 金 指定 9/3(土) 発売
大 人 1,000円・子ども 500円



11月6日(日) 開場 15:30
開演 16:00

寺井尚子カルテット
Live in IGA 2022

出演者 寺井尚子(ヴァイオリン)・北島直樹(ピアノ)
仲石裕介(ベース)・荒山諒(ドラムス)

■会場 伊賀市文化会館

料 金 指定 9/17(土) 一般発売 9/3(土) 4日会員先行予約
【前売】一般5,500円・SaMaZaMa Club会員5,200円
【当日】一般・会員共5,500円



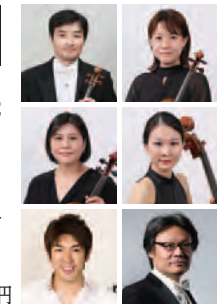
©Katsunari Kawai

11月19日(土) 開場 14:15
開演 15:00

クラシックのいろは2022
チャイコフスキーサウンドを追い求め! vol.2
大阪響の名手たちによるエモーショナルな室内楽
出演者 岡本伸一郎(ヴァイオリン)、米川さやか(ヴァイオリン)、早田 類(ヴァイオリン)
増山頌子(チェロ)、河内仁志(ピアノ)、寺岡清高(ナビゲーター)

■会場 伊賀市文化会館

料 金 指定 発売中
【発売中】自由 一般 1,500円 会員 1,300円
高校生以下 500円 バイアチケット 2,500円



11月26日(土) 開場 13:30
開演 14:00

bimonthly Concert Vol.34
偉大な芸術家の思い出に

出演者 古川佐保(ヴァイオリン)
加藤志麻(チェロ)
松江咲恵子(ピアノ)

■会場 伊賀市文化会館

料 金 自由 9/23(金・祝) 発売
500円



(公財)伊賀市文化都市協会

ホールこれから情報

校正時点での情報です。催しについては、それぞれの催しの主催者へお問い合わせください。

伊賀市文化会館

日付	催物名	入場料	主催/問合せ先
8月7日(日) ①10:00~ ②13:30~	ぶんとキッズ・アカデミー 目指せ!!アーティスト	1講座 1,000円 ※事前申込必要	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015 (伊賀市文化会館)
8月20日(土) 14:00~	三重県内男女共同参画連携映画祭2022 「アラジン」	無 料 ※事前申込必要	伊賀市男女共同参画センター ☎22-9632 (前田)
8月21日(日) ①10:00~ ②13:30~	ぶんとキッズ・アカデミー 目指せ!!アーティスト	1講座 1,000円 ※事前申込必要	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015 (伊賀市文化会館)
8月27日(土) 16:00~	キョウ・クラシック・バレエ 「白鳥の湖」	完 売	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015 (伊賀市文化会館)
9月11日(日) 11:00~	ぶんとチャイルドクラシックプログラム 第二回 おなかのなかからクラシック	無 料 (要予約)	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015 (伊賀市文化会館)
9月19日(月・祝) 13:30~	ぶんとチャイルドクラシックプログラム 第二回 2歳になるまでのクラシック	大人 500円 子ども 100円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015 (伊賀市文化会館)
9月23日(金・祝) 14:00~	bimonthly Concert Vol.33 「ソプラノとピアノによる愛のうた」	500円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015 (伊賀市文化会館)

あやま文化センター

日付	催物名	入場料	主催/問合せ先
8月7日(日) 10:00~	タッチ・ザ・スタインウェイ	参加費500円 (要予約) キャンセル料あり	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎43-1125 (あやま文化センター)
9月18日(日) 14:00~	赤まんの会 Vol.10 なつかしい校歌をたずねて II ~ 阿山・大山田編 ~	一般 1,000円 高校生以下 500円	伊賀・赤まんの会 ☎090-3930-5568 (菅生)
9月25日(日) 10:00~	タッチ・ザ・スタインウェイ	参加費500円 (要予約)	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎43-1125 (あやま文化センター)

お問い合わせ

(公財)伊賀市文化都市協会 ☎0595(22)0511 Fax0595(22)0512 <http://www.bunto.com>
伊賀市文化会館 ☎0595(24)7015
青山ホール ☎0595(52)1109 あやま文化センター ☎0595(43)1125

次回の発行は10月1日号になります。